

# レオナンデス通信

www.nakanishireo.com/

挑戦を続ける  
中西レオ

明石市は子育てに関して「給付」に力を入れてきました。本当に子育て環境を整えるならば、子供に関わる仕事の待遇を改善し、人材を育てる必要があります。

明石市は子育てに関して「給付」に力を入れてきました。本当に子育て環境を整えるならば、子供に関わる仕事の待遇を改善し、人材を育てる必要があります。



現在、明石市議の定数は30名。永遠のテーマとも言える定数の問題を考えます。

## 政治に関わる人材の育成

### 議員定数半減！も可能

学校図書館司書（学校司書）、スクールカウンセラー、保育士、学童保育支援員、臨時的任用教員などは臨時や非常勤の雇用が多い現状ですが、安定した雇用で長く働いてもらい、良い人材を育成すべきです。

たとえば学校司書について、明石市は一人が3校を掛け持ち。1校には週1～2回しか勤務しません。単に図書室を開けるだけではなく、子供が本に親しみやすい環境を作り、授業での本の活用を提案するという重要な役割です。学校図書館および学校司書の位置付けの向上は、教育の重要な課題です。

### 臨時・非常勤が多い職業

明石市は子育てに関して「給付」に力を入れてきました。本当に子育て環境を整えるならば、子供に関わる仕事の待遇を改善し、人材を育てる必要があります。

～人は城、人は石垣、人は堀、情けは味方、仇は敵なり～

## 明石の人材育成を考える

明石市は子育てに関して「給付」に力を入れてきました。本当に子育て環境を整えるならば、子供に関わる仕事の待遇を改善し、人材を育てる必要があります。

明石市は子育てに関して「給付」に力を入れてきました。本当に子育て環境を整えるならば、子供に関わる仕事の待遇を改善し、人材を育てる必要があります。

議員の数は、思い切って半減させても構わないでしょう。しかし、30万人のニーズをくみ取り、2千億円もの予算や事業をチェックする体制が弱まつてはいけません。そこで、「政策スタッフ」を議会として雇う仕組みが必要になります。議員個人に付けず、「議会」として、「政策立案・審議のために」です。アメリカの連邦議会で雇うスタッフに近いイメージですね。

政治に関わる人材を、政治家だけに限定しないことで、すそ野が広がるメリットもあります。

政治に関わる人材を、政治家だけに限定しないことで、すそ野が広がるメリットもあります。

議員・議会の仕事とは、市長の足を引っ張ることでもなければ、市長にくつづいて何でも賛成することでもありません。道路や下水道といった安全・災害対策や、将来への投資の予算が大きく削られるなかで、これからもずっと明石が安全で暮らしやすい都市として繁栄できるのか、査して議論して報告してこそ、存続価値があるというものです。

単に定数や報酬を下げるのではなく、見直すことが、真の改革です。

### 議員の仕事とは？

## 国に言いたい！ 希望する若者すべてが留学できる制度

日頃は国政について書いていませんが、強く主張したい事は打ち出してみようと思います。ご意見やご感想、アイデアをお寄せください。

### 心配事の2位がお金の問題

「留学ができるとしたら、何か心配なことがありますか？」とい

う質問に対して、高校生では一番目に「言葉の問題」59・5%を挙げ、二番目に「お金の問題」55・1%を挙げました。（複数回答）

留学・海外研修の実績を見てみると、3か月未満の短期が大学生の70%，高校生は90%以上でした。費用の心配がなければ、もつと長い滞在を希望する人も増えるのではないでしょうか。

旅行も含めて外国へ行った経験があると、外国への興味があります。内向きの視点を転換し、世界へ興味を持つてもらうことがまずスタートです。

（中学生～大学生）に最長1年間の海外留学を国費で保障する

ため、「希望するすべての若者の海外留学を国費で保障する」というレベルの思い切った取り組みが必要と考えます。

政府は国際社会で活躍する人材（グローバル人材）の育成を掲げていますが、成果は不十分。日本の将来を担う人材を育てるため、「希望するすべての若者の海外留学を国費で保障する」というレベルの思い切った取り組みが必要と考えます。



【参照】

高校生の留学に関する意識調査報告書（国立青少年教育振興機構）、平成29年度協定等に基づく日本人学生留学状況調査結果（独立行政法人日本学生支援機構）